

# 熊本大学歴史散策マップ

熊本大学の学内には五高記念館をはじめ歴史的記念物が多数残っています。  
緑豊かな落ち着いた雰囲気の中で、歴史散策をお楽しみください。



④ 薬園由来の碑



⑤ 龍南健児の像



⑥ 「武夫原頭」の歌碑



⑦ 嘉納治五郎先生の碑



③ 五高記念館(旧制五高本館)  
国指定重要文化財



② 中門



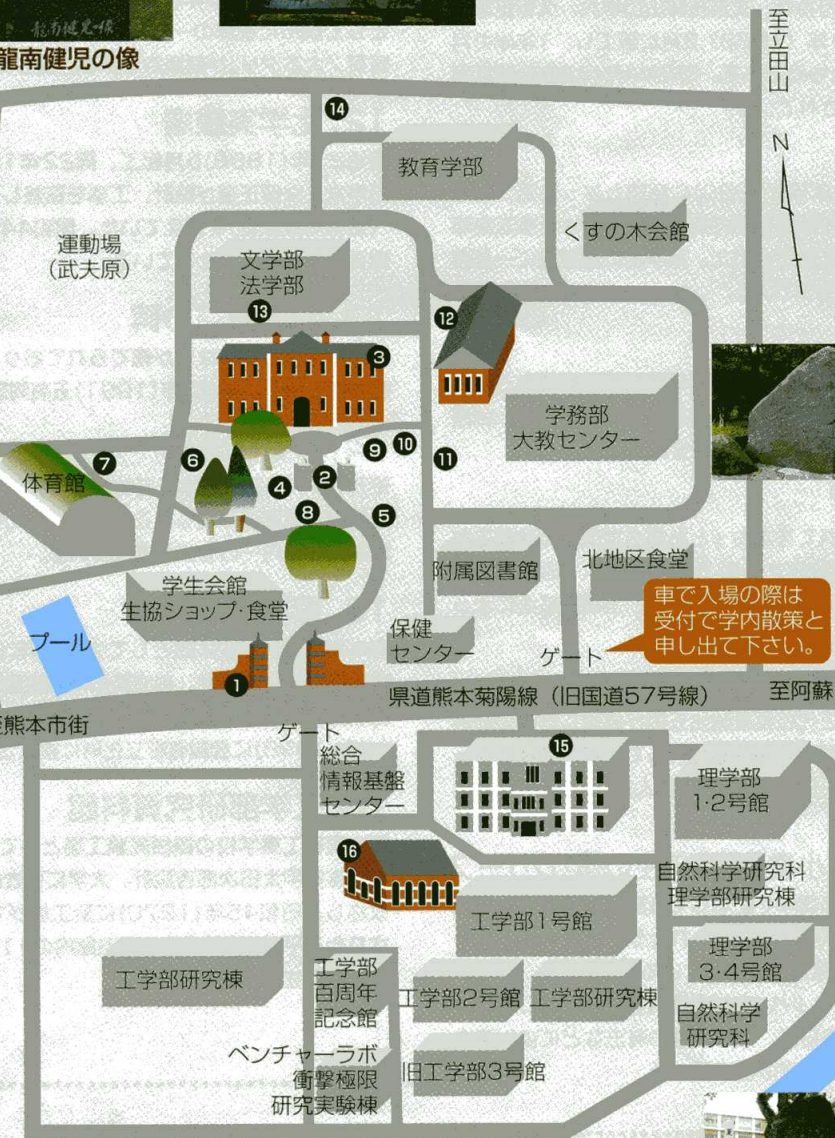
① 正門(赤門)  
国指定重要文化財



⑩ 工学部研究資料館  
国指定重要文化財



⑮ 事務局本館  
登録有形文化財



車で入場の際は  
受付で学内散策と  
申し出て下さい。



⑧ ラフカディオ・ハーン  
(小泉八雲)先生の  
碑・レリーフ



⑨ 黒本植先生の碑



⑩ 第五高等学校跡の碑



⑬ 習学寮跡の碑



⑭ 行幸記念碑



⑫ 化学実験場  
国指定重要文化財



⑪ 夏目漱石先生の  
碑・銅像・句碑



※黒髪地区の各写真説明は裏面に掲載しております。



# 黒髪地区の歴史的記念物紹介

## 1、正門(赤門)

通称赤門と呼ばれている五高の表玄関。五高本館などと同じ時期に建設された。昭和44年(1969)設計図とともに国の重要文化財に指定されている。設計図には、くぐり戸や門扉が描かれていた。

## 2、中門

赤門からサインカーブをぬけた、本館の正面に設けられた門である。五高時代には脇に門衛所があった。門には鉄製の優美な門扉があったが戦時中に金属供出され、現在は門柱のみが残っている。門柱の上におかれた門灯と白い柵は100周年記念に復元したものである。

## 3、五高記念館(旧制五高本館)

建築は文部省の直轄工事として行われ、文部技師山口半六、久留正道が設計、工事を監督した。明治21年(1888)2月に着工し、1年半の月日を要して22年8月に完成したものである。昭和44年(1969)設計図とともに国の重要文化財に指定されている。

## 4、薬園由来の碑

細川藩の薬草園「蕃滋園」が明治23年(1890)に廃園となった際、植えられていた薬木薬草 150余种が薬園長藤井景倫氏の遺族より第五高等学校に寄付されたことを記念して建てられた。薬学部の薬草園に一部移植したが、現在も当時の植物が残っている。

## 5、龍南健児の像

平成9年(1997)10月10日に五高開校110周年を記念して東京五高会により建立された。学生服にマント、下駄姿の五高生の像である。台座に五高の校風と謳われた「剛毅木訥」の文字が彫られている。

## 6、「武夫原頭」の歌碑

五高時代から現在まで歌いつがれてきたもっとも有名な寮歌の歌碑である。側面に五高応援団のレリーフが彫られている。昭和62年(1987)10月10日の五高開校100周年を記念して、五高同窓会によって建立された。

## 7、嘉納治五郎先生の碑

講道館の創始者でもある五高第三代校長嘉納治五郎が揮毫した書の転刻である。昭和40年(1965)、開校77周年を記念して五高同窓会によって建立された。黒御影石の碑で、「順道制勝行不害人」と大きく彫り込まれている。

## 8、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)先生の碑・レリーフ

昭和37年(1962)、五高開校75周年を記念して五高同窓会によって建てられた。明治27年(1894)1月27日に行われたラフカディオ・ハーンの演説「極東の将来」の結びの言葉が彫られている。

ハーンレリーフは、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)没後100回忌に当たる平成16年(2004)9月26日に、熊本大学の有志などにより建立された。制作は教育学部教授で彫刻家の石原昌一氏。

## 9、黒本植先生の碑

昭和2年(1927)12月建立、明治26年(1893)から32年(1899)まで五高の漢文の教授として在職した黒本植の記念碑。「裁叢ておくかたみの小松色そへよ学びの園の文の林に」の歌が漢字ばかりで刻まれている。

## 10、第五高等学校跡の碑

昭和33年(1958)、五高開校70周年を記念して五高同窓会によって建てられた。

## 11、夏目漱石先生の碑・銅像・句碑

昭和37年(1962)、五高開校75周年を記念して五高同窓会によって建立された。明治30年(1897)10月10日第10回開校記念日に教員総代として読んだ祝辞の一節「夫レ教育八建国ノ基礎ニシテ、師弟ノ和熟八育英ノ大本タリ」が刻まれている。傍らに銅像、句碑が建っている。

## 12、化学実験場

明治21年(1888)5月起工、同22年12月竣工。五高本館と同じく山口半六、久留正道が設計、工事を監督した。石造実験台や小規模な講堂(通称階段教室)を備えていた。昭和44年(1969)設計図とともに国の重要文化財に指定されている。

## 13、習学寮跡の碑

五高本館の南側には寮が建てられており、そこでは五高生による自治が行われていた。平成3年(1991)五高同窓会により建立。

## 14、行幸記念碑

昭和6年(1931)熊本で行われた陸軍特別大演習のため昭和天皇が来熊した際、五高に来校したことを記念して建立された。校長武藤虎太と事務筆頭の辻内一の名が彫られている。

## 15、事務局本館

熊本高等工業学校本館として大正13年(1924)竣工した。文部省建築家技師岡勇衛設計。創立時の木造校舎焼失後の再建校舎で、文部省直轄学校における鉄筋コンクリート造りの校舎の初期のものである。平成10年(1998)に登録有形文化財に指定されている。

## 16、工学部研究資料館

熊本高等工業学校の機械実験工場として明治41年(1908)竣工した。文部省技師太田次郎吉設計。大学に引き継がれた際に工学部中央工場と改称し、昭和45年(1970)に新工場ができるまで実験工場として使用された。平成6年(1994)資料館内の11台の機械とともに国の重要文化財に指定されている。

(附属病院・医学部)

## 本荘・九品寺地区



### 肥後医育記念館

肥後医育200年記念事業として、昭和51年医学部構内に開設。宝暦6年(1756)に創設された医寮春春館以来の貴重な肥後医育資料を収集展示している。

### 山崎記念館

医学部の中興の祖と称えられる山崎正重博士の功績を記念して、昭和6年(1931)に建設。登録有形文化財。内部を一般公開し未永く保存するため、平成18年(2006)、中央診療棟新築の際、建物ごと48メートル移動させた。



(薬学部)

## 大江地区



### 熊薬ミュージアム (熊薬同窓会館)

開学100年以上の歴史をもつ薬学部に関する貴重な資料や珍しい実験器具の展示をはじめ、くすりの知識などを紹介する様々なコーナーを設置。